

O's Editor3

青空文庫形式対応状況

用例の上がオズマークアップ、下が青空文庫形式

目次

第1章 字下げ	1
第1節 2字下げ	1
第2節 3字下げ	1
第3節 2字下げ&4字下げ連続指定	1
第4節 2字下げ&折り返し3字下げ	2
第5節 天付き&折り返し1字下げ	2
第6節 複雑な字下げ連続指定	2
第2章 地付き地寄せ	3
第1節 地付き	3
第2節 地付き（ブロック指定）	3
第3節 地寄せ	3
第4節 地寄せ（ブロック指定）	4
第5節 中央揃え	4
第6節 行中地付き	4
第7節 行中地寄せ	4
第3章 見出し	4
第1節 2字下げ&大見出し	4
第2節 5字下げ&中見出し	5
第3節 ルビ&中見出し	5
第4節 大見出し（行内範囲指定）	5
第5節 中見出し（行内範囲指定）	5
第6節 小見出し（行内範囲指定）	5
第7節 中見出し（行内範囲指定と面句点番号）	5
第8節 中見出し（行内範囲指定とルビの入れ子）	6
第9節 中見出し（ブロック指定）	6
第10節 字下げと中見出し（ブロック指定）	6
第11節 同行大見出しとルビの入れ子	6
第12節 同行大見出し（行内範囲指定）	7
第13節 窓見出し	7
第14節 窓大見出し（行内範囲指定）	7

第15節	窓見出しと字下げ	8
第16節	★行中窓見出し	8
第4章	強調表示	8
第1節	傍点	8
第2節	傍点（行内範囲指定）	9
第3節	傍点左側	10
第4節	傍点左側（行内範囲指定）	10
第5節	傍線	11
第6節	傍線（行内範囲指定）	11
第7節	傍線左側	12
第8節	傍線左側（行内範囲指定）	12
第9節	太字	13
第10節	太字（行内範囲指定）	13
第11節	太字（ブロック指定）	13
第12節	斜体	13
第13節	斜体（行内範囲指定）	13
第14節	斜体（ブロック指定）	14
第5章	ルビ	14
第1節	ママ	14
第2節	ルビ	14
第3節	ルビ左側	14
第4節	ルビ左側（行内範囲指定）	15
第5節	ルビ左右	15
第6節	ママ	15
第7節	ママ左側	15
第8節	訂正	15
第9節	注記付き	15
第10節	左に注記付き	16
第11節	★ルビにママ	16
第12節	★外字注記が含まれるルビ	16
第13節	★アクセント分解された欧文文字列のルビ	17
第14節	★底本では	17
第15節	★底本では	17
第6章	小文字	17

第1節	割り注	17
第2節	上付き文字（行右小書き）	18
第3節	下付き文字（行左小書き）	18
第4節	上付き文字（行右小書き）（行内範囲指定）	18
第5節	下付き文字（行左小書き）（行内範囲指定）	18
第6節	★割り注内改行	18
第7章	漢文	19
第1節	訓点 返り点	19
第2節	訓点 送り仮名	19
第3節	返り点と送り仮名の混在	19
第4節	返り点と送り仮名とルビの混合	19
第8章	字詰め	19
第1節	字詰め	19
第2節	字下げと字詰め	20
第9章	罫囲み	20
第1節	罫囲み	20
第2節	罫囲み インデント字詰めなし	21
第3節	字下げと罫囲み	22
第4節	行中地寄せと罫囲み	22
第5節	行中罫囲み	23
第6節	開始／終了型罫囲み	23
第10章	横組み	23
第1節	縦中横	23
第2節	縦中横（行内範囲指定）	24
第3節	★縦書き内横組み	24
第11章	文字サイズ	25
第1節	文字サイズ	25
第2節	文字サイズ（行内範囲指定）	26
第3節	文字サイズ（ブロック指定）	26
第4節	文字サイズ（いろいろ組み合わせ）	27
第12章	特殊文字	28
第1節	外字 第3水準	28
第2節	外字 ユニコード	28
第3節	外字 JIS X 0213非漢字面区点番号	29

第4節	くの字点	29
第5節	濁点付きくの字点	29
第6節	アクセント記号	29
第7節	★「土へん+奇」など組み合わせ外字	29
第13章	画像	30
第1節	★画像	30
第2節	注記の重複	30
第14章	改頁	31
第1節	★改丁	31
第2節	改ページ	31
第3節	★改見開き	33
第4節	★改段	33
第4節	★改段	33

第1章 字下げ

第1節 2字下げ

字下げ

字下げ

第2節 3字下げ

灰いろの抽象の世に

灰いろの抽象の世に

灰いろの抽象の世に住まんには濃きに過ぎたる煩悩の色

灰いろの抽象の世に住まんには濃きに過ぎたる煩悩の色

第3節 2字下げ&4字下げ連続指定

神様、私の死にます日が美しく清らかでありますやうに。

私の文学上のまた他の不安が、そして生涯の皮肉が、きつと私の額の大きな
疲れを離れるでせう

この日が大きな平和のうちにありますやうに。

神様、私の死にます日が美しく清らかでありますやうに。

私の文学上のまた他の不安が、そして生涯の皮肉が、きつと私の額の大きな
疲れを離れるでせう

この日が大きな平和のうちにありますやうに。

第4節 2字下げ&折り返し3字下げ

一、集団農場と村ソヴェト衛生委員会との協力によって毎月二十ルーブリ支出し、ブローホフ村の医者を七日に一遍ずつまねくこと。

一、集団農場と村ソヴェト衛生委員会との協力によって毎月二十ルーブリ支出し、ブローホフ村の医者を七日に一遍ずつまねくこと。

第5節 天付き&折り返し1字下げ

一 余死せば朝日新聞社より多少の涙金渡るべし

一 此金を受取りたる時は年齢に拘らず平均に六人の家族に頭割りにすべし例せば社より六百円渡りたる時は頭割にして一人の所得百円となる計算也

一 余死せば朝日新聞社より多少の涙金渡るべし

一 此金を受取りたる時は年齢に拘らず平均に六人の家族に頭割りにすべし例せば社より六百円渡りたる時は頭割にして一人の所得百円となる計算也

第6節 複雑な字下げ連続指定

(叫ぶ。)「何だ。まっくらじゃないか。今ごろになってまだあかりも点けんのか。」

兵士等辛うじて立ちあがり挙手の礼。

大将「灯をつけろ、間抜けめ。」

曹長点燈す。兵士等大将のエボレット勳章等を見て食せんとするの衝動甚し。

大将「間抜けめ、どれもみんなまるで泥人形だ。」

脚を重ねて椅子に座す。ポケットより新聞と老眼鏡とを取り出し殊更に顔をしかめつつこれを読む。しきりにゲップす。やがて睡る。

曹長(低く。)
「大将の勳章は実に甘そうだなあ。」

(叫ぶ。)「何だ。まっくらじゃないか。今ごろになってまだあかりも点けんのか。」

兵士等辛うじて立ちあがり挙手の礼。

大将「^{あかり}灯をつけろ、^{まぬ}間抜けめ。」

曹長点燈す。兵士等大将のエボレット勲章等を見て食せんとするの^{しょうどうはなはだ}衝動甚し。

大将「間抜けめ、どれもみんなまるで^{どろ}泥人形だ。」

脚を重ねて^{いす}椅子に座す。ポケットより新聞と老眼鏡とを取り出し^{ことさら}殊更に顔をしかめつつこれを読む。しきりに^{ねむ}ゲップす。やがて睡る。

曹長(低く。)^{うま}「大将の勲章は実に甘そうだなあ。」

第2章 地付き地寄せ

第1節 地付き

(この日記終り)

(この日記終り)

第2節 地付き (ブロック指定)

「昭和十八年四月二十四日稿了」

「 同 四月二十九日清書」

「昭和十八年四月二十四日稿了」

「 同 四月二十九日清書」

第3節 地寄せ

(昭和十一年五月、^{あざぶいいくら}麻布飯倉にて)

(昭和十一年五月、^{あざぶいいくら}麻布飯倉にて)

第4節 地寄せ (ブロック指定)

——一九七一年四月二十七日付
《ザ・タイムズ》

——一九七一年四月二十七日付
《ザ・タイムズ》

第5節 中央揃え

あぎぶいいくら
(麻布飯倉にて)
あぎぶいいくら
(麻布飯倉にて)

第6節 行中地付き

二人はそれぎり黙って風呂へはいった。…………… (『十番随筆』所収)
二人はそれぎり黙って風呂へはいった。…………… (『十番随筆』所収)

第7節 行中地寄せ

まれに、きわめてまれに、天の焔^{ほのお}を取って来てこの境界のガラス板をすっかり熔^とか
してしまう人がある。…………… 大正九年五月
まれに、きわめてまれに、天の焔^{ほのお}を取って来てこの境界のガラス板をすっかり熔^とか
してしまう人がある。…………… 大正九年五月

第3章 見出し

第1節 2字下げ&大見出し

上 先生と私

上 先生と私

第2節 5字下げ&中見出し

一

一

第3節 ルビ&中見出し

るまる
○○

まるまる
○○

第4節 大見出し（行内範囲指定）

今年^の目標

今年^の目標

第5節 中見出し（行内範囲指定）

今月^の目標

今月^の目標

第6節 小見出し（行内範囲指定）

今週^の目標

今週^の目標

第7節 中見出し（行内範囲指定と面句点番号）

I

I

第8節 中見出し（行内範囲指定とルビの入れ子）

ア ジ ア あげぼの
亜細亜の曙

ア ジ ア あげぼの
亜細亜の曙

第9節 中見出し（ブロック指定）

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

第10節 字下げと中見出し（ブロック指定）

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

第11節 同行大見出しとルビの入れ子

にゆうぞう おも げんいん
入藏を思ひ立ツた原因 でありまして

にゆうぞう おも げんいん
入藏を思ひ立ツた原因 でありまして

第12節 同行大見出し（行内範囲指定）

どうぎょう ○ ○ ○ ○ ○ ○ どうぎょう

どうぎょう ○ ○ ○ ○ ○ ○ どうぎょう

第13節 窓見出し

龍王岬 巖々たる岩岬海中に兀出す。一步として上らるゝ場にあらず。怪松五六株（繁）茂セリ。又此岬より貳三丁隔て、又海中ニ磊々たる巖石疊上たる小じま有。

龍王岬 巖々たる岩岬海中に兀出す。一步として上らるゝ場にあらず。怪松五六株（繁）茂セリ。又此岬より貳三丁隔て、又海中ニ磊々たる巖石疊上たる小じま有。

龍王岬 巖々たる岩岬海中に兀出す。一步として上らるゝ場にあらず。怪松五六株（繁）茂セリ。又此岬より貳三丁隔て、又海中ニ磊々たる巖石疊上たる小じま有。

龍王岬 巖々たる岩岬海中に兀出す。一步として上らるゝ場にあらず。怪松五六株（繁）茂セリ。又此岬より貳三丁隔て、又海中ニ磊々たる巖石疊上たる小じま有。



巖々たる岩岬海中に兀出す。一步として上らるゝ場にあらず。怪松五六株（繁）茂セリ。又此岬より貳三丁隔て、又海中ニ磊々たる巖石疊上たる小じま有。

あ 巖々たる岩岬海中に兀出す。一步として上らるゝ場にあらず。怪松五六株（繁）茂セリ。又此岬より貳三丁隔て、又海中ニ磊々たる巖石疊上たる小じま有。

第14節 窓大見出し（行内範囲指定）

窓大見出し 指定範囲に外字注記が含まれるとき、前方参照型では期待通りに変換されないときも。開始／終了型で書いてください。

窓中見出し 指定範囲に外字注記が含まれるとき、前方参照型では期待通りに変換されないときも。開始／終了型で書いてください。

窓小見出し 指定範囲に外字注記が含まれるとき、前方参照型では期待通りに変換さ

れないときも。開始／終了型で書いてください。

窓見出し 指定範囲に外字注記が含まれるとき、前方参照型では期待通りに変換されな
いときも。開始／終了型で書いてください。

第15節 窓見出しと字下げ

龍王岬 峨々たる岩岬海中に兀出す。一步として上らるゝ場にあらず。怪松五六株
(繁) 茂セリ。又此岬より貳三丁隔て、又海中ニ磊々たる巖石疊上たる
小じま有。

龍王岬 峨々たる岩岬海中に兀出す。一步として上らるゝ場にあらず。怪松五六株
(繁) 茂セリ。又此岬より貳三丁隔て、又海中ニ磊々たる巖石疊上たる小
じま有。

第16節 ★行中窓見出し

※未対応 (対応予定なし)

龍王岬 峨々たる岩岬海中に兀出す。一步として上らるゝ場にあらず。怪松五六株
(繁) 茂セリ。又此岬より貳三丁隔て、又海中ニ磊々たる巖石疊上たる
小じま有。是を則 **龍王嶋** と云り。松の樹六七株。高凡五六丈。峨々たる岩岬
海中に兀出す。一步として上らるゝ場にあらず。怪松五六株 (繁) 茂セリ。又此岬
より貳三丁隔て、又海中ニ磊々たる巖石疊上たる小じま有。

第4章 強調表示

第1節 傍点

腹がへっても、ひもじゅうないとかぶりを振っている…

腹がへっても、ひもじゅうないとかぶりを振っている…

責空文庫

責空文庫

責空文庫

責空文庫
●責空文庫
●責空文庫
○責空文庫
○責空文庫
▲責空文庫
▲責空文庫
△責空文庫
△責空文庫
◎責空文庫
◎責空文庫
●責空文庫
●責空文庫
×責空文庫
×責空文庫

第2節 傍点（行内範囲指定）

青空文庫で読書しよう
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう
青空文庫で読書しよう。
●青空文庫で読書しよう
●青空文庫で読書しよう。
○青空文庫で読書しよう
○青空文庫で読書しよう。
▲青空文庫で読書しよう
▲青空文庫で読書しよう。
△青空文庫で読書しよう
△青空文庫で読書しよう。
◎青空文庫で読書しよう
◎青空文庫で読書しよう。
●青空文庫で読書しよう
●青空文庫で読書しよう。

青空文庫で読書しよう。
 ▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲
 青空文庫で読書しよう。
 ▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲
 青空文庫で読書しよう。
 △△△△△△△△△△△△△△△△
 青空文庫で読書しよう。
 △△△△△△△△△△△△△△△△
 青空文庫で読書しよう。
 ◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎
 青空文庫で読書しよう。
 ◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎
 青空文庫で読書しよう。
 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
 青空文庫で読書しよう。
 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●
 青空文庫で読書しよう。
 ××××××××××××××××××
 青空文庫で読書しよう。
 ××××××××××××××××××

第5節 傍線

この形は傍線と書いてください。

この形は傍線と書いてください。

青空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫

第6節 傍線（行内範囲指定）

青空文庫で読書しよう
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう
青空文庫で読書しよう。

青空文庫で読書しよう
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう
青空文庫で読書しよう。

第7節 傍線左側

※オズマークアップでは位置をマイナス指定して対応

責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫
責空文庫

第8節 傍線左側（行内範囲指定）

青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう。
青空文庫で読書しよう。

第9節 太字

「クリス、宇宙航行委員会が**選考**するんだ。待つんだ」
「クリス、宇宙航行委員会が**選考**するんだ。待つんだ」

第10節 太字（行内範囲指定）

「クリス、宇宙航行委員会が**選考**するんだ。待つんだ」
「クリス、宇宙航行委員会が**選考**するんだ。待つんだ」

第11節 太字（ブロック指定）

東北大学の大泉充郎らがどのような経緯で電子計算機の開発を目指し、渡部和ら
がいかに悪戦苦闘を続けたかは、東北大学側を情報源とした、八甫谷邦明「S
E N A C開発余話」（『コンピュートピア』一九七五年八月号）に詳しい。

東北大学の大泉充郎らがどのような経緯で電子計算機の開発を目指し、渡部和ら
がいかに悪戦苦闘を続けたかは、東北大学側を情報源とした、八甫谷邦明「S
E N A C開発余話」（『コンピュートピア』一九七五年八月号）に詳しい。

第12節 斜体

「クリス、宇宙航行委員会が**選考**するんだ。待つんだ」
「クリス、宇宙航行委員会が**選考**するんだ。待つんだ」

第13節 斜体（行内範囲指定）

「クリス、宇宙航行委員会が**選考**するんだ。待つんだ」
「クリス、宇宙航行委員会が**選考**するんだ。待つんだ」

第14節 斜体（ブロック指定）

東北大学の大泉充郎らがどのような経緯で電子計算機の開発を目指し、渡部和ら
がいかに悪戦苦闘を続けたかは、東北大学側を情報源とした、八甫谷邦明「S
E N A C開発余話」（『コンピュートピア』一九七五年八月号）に詳しい。

東北大学の大泉充郎らがどのような経緯で電子計算機の開発を目指し、渡部和ら
がいかに悪戦苦闘を続けたかは、東北大学側を情報源とした、八甫谷邦明「
SENAC開発余話」（『コンピュートピア』一九七五年八月号）に詳しい。

第5章 ルビ

第1節 ママ

^{ママ}
吹喋
^{ママ}
吹喋

^マ広場へに店でもだそう。
^マ広場へに店でもだそう。

第2節 ルビ

^{あおぞらぶんこ}
青空文庫
^{あおぞらぶんこ}
青空文庫

^{スコットランドヤード}
霧のロンドン警視庁

^{スコットランドヤード}
霧のロンドン警視庁

^{しめきり}べ切を逃れるために、^{いちがや}市ヶ谷から^{てんてん}転々と、居を移した。

^{しめきり}べ切を逃れるために、^{いちがや}市ヶ谷から^{てんてん}転々と、居を移した。

第3節 ルビ左側

^{あおぞらぶんこ}
青空文庫

青空文庫
^{あおぞらぶんこ}

第4節 ルビ左側（行内範囲指定）

^{れんじまど}
櫃子窓

櫺子窓
れんじまど

第5節 ルビ左右

あおぞらぶんこ
青空文庫
aozora bunko

あおぞらぶんこ
青空文庫
aozora bunko

あおぞらぶんこ
大空文庫
マ

あおぞらぶんこ
大空文庫
マ

第6節 ママ

マ
大空文庫
マ
大空文庫
マ
広場へに店でもだそう。

第7節 ママ左側

マ
大空文庫
マ
大空文庫
マ

第8節 訂正

紋附だとか
私は籠^{ざる}をさげ

第9節 注記付き

(銘々)
名々

(銘々)
名々

本ト麟太郎
勝安房守

本ト麟太郎
勝安房守

第10節 左に注記付き

(銘々)
名々

(銘々)
名々

本ト麟太郎
勝安房守

本ト麟太郎
勝安房守

第11節 ★ルビにママ

※オズマークアップは脚注で対応しヒント表示も行う。青空文庫形式は非表示になる。

松はお湯^{ゆう}へは行って(※1)

松はお湯^{ゆう}へ行って

第12節 ★外字注記が含まれるルビ

※オズマークアップはユニコードで対応。青空文庫形式は未対応。

水鉢を置いた^{れんじまど}襦子窓の下には

水鉢を置いた^{れんじまど}襦子窓の下には

第13節 ★アクセント分解された欧文文字列のルビ

※アクセント+ルビの位置調整は未対応

それが彼の^{エチュード}Étudeだった。

それが彼の^{エチュード}Étude だった。

第14節 ★底本では

※オズマークアップは脚注で対応しヒント表示も行う。青空文庫形式は非表示になる。

紋附だとか^(※2)

紋附だとか

第15節 ★底本では

※オズマークアップは脚注で対応しヒント表示も行う。青空文庫形式は非表示になる。

そのとき私は籠^{ざる}をさげ^(※3)

そのとき私は籠^{ざる}をさげ

第6章 小文字

第1節 割り注

理論家の説と^{ヒロソ}政治家の事^{ポリチカ}とは大に区別あるものなり。

理論家の説と^{ヒロソ}政治家の事^{ポリチカ}とは大に区別あるものなり。

^{ひかん}被官^(中世、上級武士に下屬して家臣化した下級武士)、^{しもべ}下部が^{ほしいまま}恣にその主人を見棄てて他へ出奔し、

^{ひかん}被官^(中世、上級武士に下屬して家臣化した下級武士)、^{しもべ}下部が^{ほしいまま}恣にその主人を見棄てて他へ出奔し、

第2節 上付き文字（行右小書き）

それ以上である。(5)

それ以上である。(5)

2²

2²

第3節 下付き文字（行左小書き）

それ以上である。（5）

それ以上である。（5）

H₂O

H₂O

第4節 上付き文字（行右小書き）（行内範囲指定）

記号①

記号①

記号①

第5節 下付き文字（行左小書き）（行内範囲指定）

記号①

記号①

記号①

第6節 ★割り注内改行

※未対応（対応予定なし）

飽海郡南平田村大字飛鳥東は字大林四三七西
は字神内一一一ノ一

飽海郡南平田村大字飛鳥東は字大林四三七西
は字神内一一一ノ一

第7章 漢文

第1節 訓点返り点

自_二女王國_一東度_レ海千餘里。

自_二女王國_一東度_レ海千餘里。

見_二大人所_一敬。

見_二大人所_一敬。

而敬 - _二祭天神地祇_一。

而敬 - _二祭天神地祇_一。

第2節 訓点送り仮名

山城國久世郡水主坐山背大國魂命神、
山城國久世郡水主坐山背大國魂命神、
爾時倭姫命見悦給、其處魚見社定賜とあり。
爾時倭姫命見悦給、其處魚見社定賜とあり。

第3節 返り点と送り仮名の混在

噉_二古人貧交行之詩_一吐而戲序
噉_二古人貧交行之詩_一吐而戲序

第4節 返り点と送り仮名とルビの混合

※ザルのルビが広すぎる

未_レ若_二貧_一而樂_レ道、富而好_レ禮者_一也。

未_レ若_二貧_一而樂_レ道、富而好_レ禮者_一也。
ザル

第8章 字詰め

第1節 字詰め

昭和十五年五月二十九
日京都義方会に於ける
講演速記で同年八月若
干追補した。

昭和十五年五月二十九
日京都義方会に於ける
講演速記で同年八月若
干追補した。

第2節 字下げと字詰め

昭和十五年五月二十九日京都義方会に於ける
講演速記で同年八月若干追補した。

昭和十五年五月二十九日京都義方会に於ける
講演速記で同年八月若干追補した。

第9章 罫囲み

※罫囲みは等幅フォント限定。プロポーショナルフォントでは罫線がズレる。(対
応したい)

第1節 罫囲み

その指令というのは――

(指令本第一九九七八号)

(一) Q X 30ト Q Z 19トハ、^{そつこくかんちょうぎ おもむ}即刻間諜座ニ赴キ、「レビュー・ガ
ル」^{うち}の内ヨリ左眼[●]ニ義眼[●]ヲ入レタル少女ヲ探シ出シ、彼女ノ芸名ヲ
取調べ、^{ただ} Q Z 19ハ直チニ R 区裏ノ公衆電話傍ニ^{そば}急行シテ黄色ノ外套^{がいでう}
ヲ着セル二人ノ同志ニ^{これ}之ヲ報告セヨ。又 Q X 30ハ間諜座内ニ^{そのまま}其儘止
リテ、打出シト共ニ^{とも}群衆ニ^{まぎ}紛レテ脱出セヨ。

(二) 右ノ報告ヲ本日午後十時マデニ報告シ得ザルトキハ、在京同
志^{ことごとみょうちょう}ハ悉ク明朝ヲ待タズシテ^{おうさつ}塵殺セラルルコトヲ^{めいき}銘記セヨ。^{ざいきょう}

その指令というのは――

(指令本第一九九七八号)

(一) Q X 30トQ Z 19トハ、^{そつこくかんちょうぎ おもむ} 即刻間諜座ニ赴キ、「レビュー・ガール」の内ヨリ^{うち}左眼ニ^{ただ}義眼ヲ入レタル少女ヲ探シ出シ、彼女ノ芸名ヲ取調べ、Q Z 19ハ直チニR区裏ノ公衆電話傍ニ^{そば}急行シテ黄色ノ外套ヲ着セル二人ノ同志ニ之ヲ報告セヨ。又Q X 30ハ間諜座内ニ其儘止リテ、^{うちだ}打出シト共ニ^{とも}群衆ニ^{まぎ}紛レテ脱出セヨ。

(二) 右ノ報告ヲ本日午後十時マデニ報告シ得ザルトキハ、^{ざいきょう}在京同志ハ^{ことごとみょうちょう}悉ク明朝ヲ待タズシテ^{おうさつ}麤殺セラルルコトヲ^{めいき}銘記セヨ。

第2節 罫囲み インデント字詰めなし

その指令というのは――

(指令本第一九九七八号)

(一) Q X 30トQ Z 19トハ、^{そつこくかんちょうぎ おもむ} 即刻間諜座ニ赴キ、「レビュー・ガール」の内ヨリ^{うち}左眼ニ^{ただ}義眼ヲ入レタル少女ヲ探シ出シ、彼女ノ芸名ヲ取調べ、Q Z 19ハ直チニR区裏ノ公衆電話傍ニ^{そば}急行シテ黄色ノ外套ヲ着セル二人ノ同志ニ之ヲ報告セヨ。又Q X 30ハ間諜座内ニ其儘止リテ、^{うちだ}打出シト共ニ^{とも}群衆ニ^{まぎ}紛レテ脱出セヨ。

(二) 右ノ報告ヲ本日午後十時マデニ報告シ得ザルトキハ、^{ざいきょう}在京同志ハ^{ことごとみょうちょう}悉ク明朝ヲ待タズシテ^{おうさつ}麤殺セラルルコトヲ^{めいき}銘記セヨ。

その指令というのは――

(指令本第一九九七八号)

(一) Q X 30トQ Z 19トハ、^{そつこくかんちょうぎ おもむ} 即刻間諜座ニ赴キ、「レビュー・ガール」の内ヨリ^{うち}左眼ニ^{ただ}義眼ヲ入レタル少女ヲ探シ出シ、彼女ノ芸名ヲ取調べ、Q Z 19ハ直チニR区裏ノ公衆電話傍ニ^{そば}急行シテ黄色ノ外套ヲ着セル二人ノ同志ニ之ヲ報告セヨ。又Q X 30ハ間諜座内ニ其儘止リテ、^{うちだ}打出シト共ニ^{とも}群衆ニ^{まぎ}紛レテ脱出セヨ。

(二) 右ノ報告ヲ本日午後十時マデニ報告シ得ザルトキハ、^{ざいきょう}在京同志ハ^{ことごとみょうちょう}悉ク明朝ヲ待タズシテ^{おうさつ}麤殺セラルルコトヲ^{めいき}銘記セヨ。

第3節 字下げと罫囲み

仕事を少しでも怠^{なま}けたと見るときには大^{だい}焼^やきを入れる。
組をなして怠^{なま}けたものにはカ^かムサ^むツカ^つ体操をさせる。
罰として賃銀棒引き、
函館へ帰ったら、警察に引き渡す。
いやしくも監督に対し、少しの反抗を示すときは銃^{じゆう}殺^{ころ}されるもの
と思うべし。

浅川監督
雑夫長

仕事を少しでも怠^{なま}けたと見るときには大^{だい}焼^やきを入れる。
組をなして怠^{なま}けたものにはカ^かムサ^むツカ^つ体操をさせる。
罰として賃銀棒引き、
函館へ帰ったら、警察に引き渡す。
いやしくも監督に対し、少しの反抗を示すときは銃^{じゆう}殺^{ころ}されるもの
と思うべし。

浅川監督
雑夫長

第4節 行中地寄せと罫囲み

※下記は行中半角2桁地寄せを含む罫囲み

附記 この探偵小説には私が懸賞をだします。犯人を推定した
最も優秀な答案に、この小説の解決篇の原稿料を呈上します。
細目はいずれ、誌上に発表しますが、だいたい、九回か十回連
載の予定、大いに皆さんと知恵くらべをやりましょう。当らな
ければ、原稿料は差上げませんよ。たいがい、差上げずに、す
むでしよう。 坂口安吾

附記 この探偵小説には私が懸賞をだします。犯人を推定した最も優秀な答案に、この小説の解決篇の原稿料を呈上します。細目はいずれ、誌上に発表しますが、だいたい、九回か十回連載の予定、大いに皆さんと知恵くらべをやりましょう。当らなければ、原稿料は差上げませんよ。たいがい、差上げずに、すむでしょう。 坂口安吾

第5節 行中罫囲み

そして キ劇の 犠牲になるようなことは

そして キ劇の 犠牲になるようなことは

第6節 開始／終了型罫囲み

この探偵小説には私が懸賞をだします。犯人を推定した最も優秀な答案に、この小説の解決篇の原稿料を呈上します。

この探偵小説には私が懸賞をだします。犯人を推定した最も優秀な答案に、この小説の解決篇の原稿料を呈上します。

第10章 横組み

第1節 縦中横

米機B29の編隊は、

米機B29の編隊は、

第2節 縦中横（行内範囲指定）

(I)

(I)

12345

12345

第3節 ★縦書き内横組み

※未対応

手持現金旧券 + (新円100円×家族人数) + 500円以内の給料 + 300円 + (100×
X)

Impia tortorum longos hic turba furores

Sanguinis innocui non satiata aluit.

Sospite nunc patria fracto nunc funeris antro

Mors ubi dira fuit vita salusque patent.

「ここにかつて神を恐れざる拷問者の群れ、飽くことなく、
罪なき者の血に、長くそが狂暴の呪文じゅもん はぐくを育みぬ。
今や国土やすらかに、恐怖の洞穴はうちこわされ、
恐ろしき死のありしところ、生命と平安と現われたり」

パリのジャコバン倶楽部の遺趾いしに建てらるべき市場の門扉にし
るすために作られた四行詩

“Die Humanität erst bringt Klarheit über die Menschenwelt und von da aus auch über die Götterwelt”

小さく書かれてあるスハフ 134273 とい

第11章 文字サイズ

※文字サイズはプロポーションナルフォント限定。等幅フォントだと文字の大きさは変わらない。

第1節 文字サイズ

火星の女

県立高女の怪事

ミス黒焦事件

噂は噂を生んで迷宮へ

本日記事解禁

去る三月二十六日午前二時ごろ、市内大通六丁目、県立高等女学校内、運動場の一角に在る物置の^{あばらや}廃屋より発火し、折柄の烈風に^{あお}煽られ

火星の女

県立高女の怪事

ミス黒焦事件

噂は噂を生んで迷宮へ

本日記事解禁

去る三月二十六日午前二時ごろ、市内大通六丁目、県立高等女学校内、運動場の一隅に在る物置の^{あばらや}廃屋より発火し、折柄の烈風に^{あお}煽られ

第2節 文字サイズ（行内範囲指定）

青空文庫であって責空文庫ではない。

青空文庫であって責空文庫ではない。

青空文庫であって責空文庫ではない。

青空文庫であって責空文庫ではない。

第3節 文字サイズ（ブロック指定）

東北大学の大泉充郎らがどのような経緯で電子計算機の開発を目指し、渡部和らがいかに悪戦苦闘を続けたかは、東北大学側を情報源とした、八甫谷邦明「SENAC開発余話」（『コンピュータピア』一九七五年八月号）に詳しい。以来渡部は、調整という名の仕上げ作業を仙台で半年以上も続けた。

東北大学の大泉充郎らがどのような経緯で電子計算機の開発を目指し、渡部和らがいかに悪戦苦闘を続けたかは、東北大学側を情報源とした、八甫谷邦明「SENAC開発余話」（『コンピュータピア』一九七五年八月号）に詳しい。以来渡部は、調整という名の仕上げ作業を仙台で半年以上も続けた

東北大学の大泉充郎らがどのような経緯で電子計算機の開発を目指し、渡部和らがいかに悪戦苦闘を続けたかは、東北大学側を情報源とした、

八甫谷邦明「SENAC開発余話」（『コンピュータピア』一九七五年八月号）に詳しい。

以来渡部は、調整という名の仕上げ作業を仙台で半年以上も続けた。

東北大学の大泉充郎らがどのような経緯で電子計算機の開発を目指し、渡部和らがいかに悪戦苦闘を続けたかは、東北大学側を情報源とした、

八甫谷邦明「SENAC開発余話」（『コンピュートピア』一九七五年八月号）に詳しい。

以来渡部は、調整という名の仕上げ作業を仙台で半年以上も続けた。

第4節 文字サイズ（いろいろ組み合わせ）

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

青空

このプロジェクトを、青空文庫と呼んでいます。

このプロジェクトを、青空文庫と呼んでいます。

このプロジェクトを、あおぞらぶんこ青空文庫と呼んでいます。

このプロジェクトを、あおぞらぶんこ青空文庫と呼んでいます。

ひがし さ 北 きこぞう 南 みなみため
東を差して来た小僧皆身の為に

ひがし さ き こぞう みなみ ため
東を差して来た小僧皆身の為に

きよみずもう
清水詣で

きよみずもう
清水詣で

第12章 特殊文字

第1節 外字 第3水準

撈
撈

第2節 外字 ユニコード

𪗇
𪗇

第3節 外字 JIS X 0213非漢字面区点番号

𪗇

ゑ

ゑ

ゑ

第4節 く の字点

く

く

第5節 濁点付きく の字点

く

く

第6節 アクセント記号

繁雑な日本の *étiquette* も、
繁雑な日本の *é'tiquette* も、

Sitôt qu'on le touche il résonne.
Sitô[^]t úu'on le touche ilére'sonne.

第7節 ★「土へん+奇」など組み合わせ外字

※オズマークアップはユニコードで対応。青空文庫は非表示になる。

崎

※

第13章 画像

第1節 ★画像

※未対応だが対応予定

阿耨達池とカイラス雪峰

アケビ (*Akebia quinata Decne.*) の果実

第3図『雪華図説』図版第十面

本図は加納一郎氏所蔵原本より複写したもので、貴重な原本を貸与された同氏の厚志を謝す。なお文久二年大槻磐溪の重刻本もただ一箇順序のちがったものがあるが、図は原本と同じものである。

第2節 注記の重複

このプロジェクトを、青空文庫と呼んでいます。

このプロジェクトを、青空文庫と呼んでいます。

このプロジェクトを、^{あおぞらぶんこ}青空文庫と呼んでいます。

このプロジェクトを、^{あおぞらぶんこ}青空文庫と呼んでいます。

きよみずもう
清水詣で

きよみずもう
清水詣で

※ルビと傍点重ね合わせなど未対応 (対応したい)

ひがし さ き ○ こぞう みなみ ため
東を差して来た小僧皆身の為に…
北 北 南

ひがし さ き ○ こぞう みなみ ため
東を差して来た小僧皆身の為に…

第14章 改頁

第1節 ★改訂

※未対応（対応予定なし）

第2節 改ページ

オズマークアップの改ページ

※ここがオズマークアップ改ページ段落。改ページ記号は直前段落末尾に表記

青空文庫の改ページ

※ここが青空文庫形式改ページ段落。改ページ記号は直前段落末尾に表記

第3節 ★改見開き

※未対応（対応予定なし）

第4節 ★改段

※未対応（対応予定なし）

(※1) ルビの「ゆう」はママ

(※2) 底本では「絞附だとか」

(※3) ルビの「ざる」は底本では「さる」